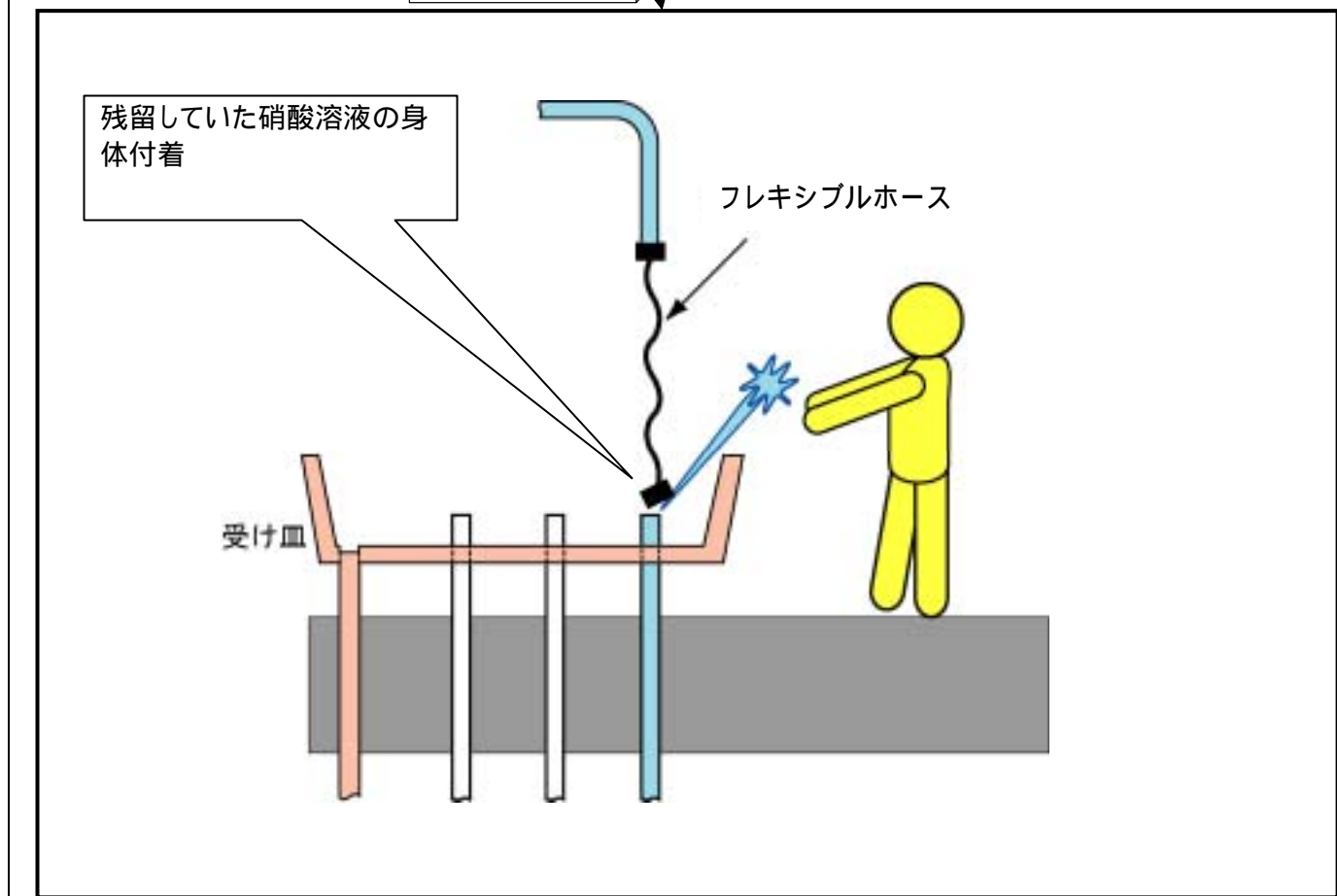
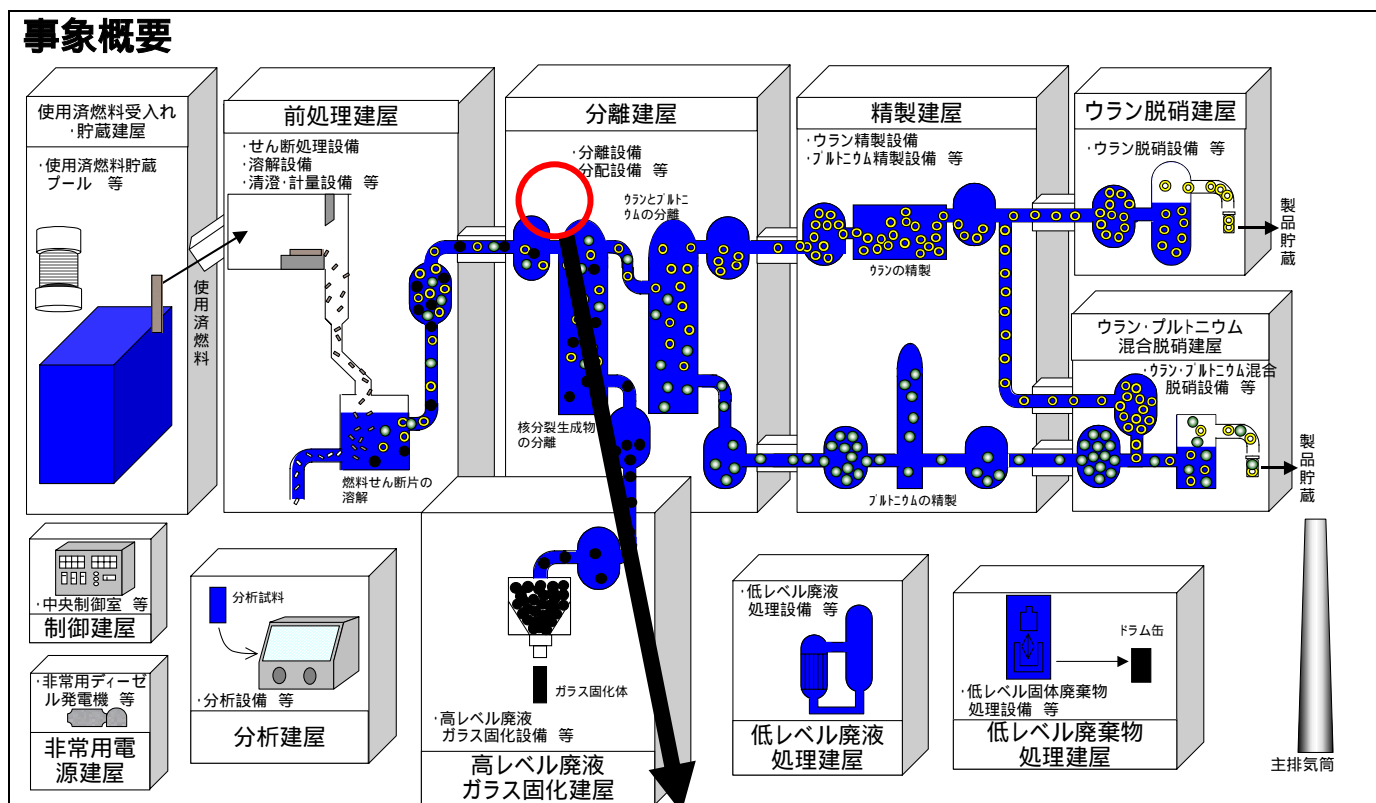


再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.9-11)

件名	フレキシブルホース取り外し作業時における硝酸溶液の身体付着
事象の概要	<p>(1) 発生場所: 機器 分離建屋: 除染試薬設備フレキシブルホース</p> <p>(2) 発生の状況 除染試薬設備運転中</p> <p>(3) 概要 除染試薬設備のフレキシブルホース取り外し時における残留硝酸溶液の身体付着(作業員は病院で診察)</p> <p>*他の建屋も含め同種の作業においても、同様な事象の発生が予想される。</p>
事象による影響	<p>(1) 工場外への影響 工場外への影響は生じない。 分離建屋換気設備が稼働している室内での放射性物質を含まない硝酸溶液の作業員への付着であり、工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 安全上の問題は生じない。 放射性物質を含まない硝酸溶液の作業員への付着であり、また、付近にこぼれた硝酸は定められた手順に従って回収するため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 作業員への影響は生じない。 作業員は必要な防護具を着用しており、また身体に付着した硝酸は直ちに洗浄を行うことによって作業員の安全を確保するため、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 他工程への影響は生じない。 作業員への硝酸溶液の付着であり、他の工程への影響は生じない。</p>
対応の概要	<p>(1) 身体に付着した硝酸を水により洗浄する。</p> <p>(2) 付近に飛散した硝酸溶液を定められた手順に従って除去する。</p> <p>(3) 念のため、病院にて医療措置を実施する。</p>



公表区分	翌平日に公表(ホームページへ掲載)	
対応区分	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES)のレベル 日本原燃による評価: レベル0以下 放射性物質の外部放出 工場外への影響 放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響 運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化
	(b) 運転系統を切り替えて復旧	
	(c) 当該機器を停止して復旧	
	(d) 当該設備を停止して復旧	
	(e) 影響範囲の設備を停止	